

夢に向かって

～高い志をもって、自分の可能性に挑戦しよう～

教育目標 健康：たくましい心身の鍛練

立志：学び続ける強い意志と実践

共生：思いやりと感謝の心

全校生徒327名(1年:101名, 2年:121名, 3年:105名)

令和2年4月13日(月)発行

新たな気持ちで、本宮二中新年度スタート!

今年は暖冬の影響もあり、新年度スタートの頃には桜の開花も見られました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2・3年生は、3月4日(水)～3月29日(日)に臨時休業および部活動中止の措置がとられ、3月30日(月)から感染予防の対策を行いながら諸活動を再開し、4月6日(月)を迎えることができました。

さて、4月6日(月)には、例年と異なる令和2年度の始業式と入学式が行われ、新入生101名を迎え、全校生327名、教職員33名で、本校の教育活動がスタートしました。

生徒および保護者の皆様、ご進級、ご入学おめでとうございます。生徒達は、これから始まる中学校生活や新しい学年での生活に夢や希望を抱いていると思います。こうした思いや期待に応えることができるよう、教職員一同、全力で取り組んでいきたいと思ひます。

入学式では、春山琉真君(岩根小出身)が「誓いの言葉」を力強く述べ、青木玲叶君(五百川小出身)が教科用図書を代表で受け取りました。さらに、2・3年生を代表して、山口暁澄君が「歓迎の言葉」を述べました。また、ご来賓として谷明子様(市教育委員会教育長職務代理者)がご臨席されました。



着任式で、佐藤柑菜さんから転入職員へ歓迎のメッセージ

4月6日(月)には、第一学期始業式に先立ち、着任式が行われました。転入職員は【右記】の通りです。全校生徒を代表して佐藤柑菜さんから歓迎のメッセージが述べられました(【下記】)。また、4月1日(水)の早朝から、生徒会本部役員が転入職員を玄関先で出迎えてくれました。

■校長	三津間勝彦(二本松市立二本松第二中学校より)
■教諭	遠藤 恵(福島市立福島養護学校より)
■教諭	菅野 裕丈(二本松市立東和中学校より)
■教諭	市川 路子(福島市立西信中学校より)
■非常勤講師	尾形 純子(二本松市立二本松第三中学校より)
■栄養教師	佐藤 啓子(福島市立西信中学校より)

暖かな春の佳き日に、新たに着任される6名の先生方に、全校生徒を代表して、歓迎の言葉を申し上げます。

本校は9年前の東日本大震災によって、校舎が被災しました。しかし、震災からわずか2年で校舎と体育館が再建されました。このことは、数多くの方々から本宮二中生のことを思っ、迅速に校舎の再建に携わってくださったおかげです。そして、このたくさんの方々のお力によって、本校が復旧・復興したというお話は、本宮二中生に代々語り継がれています。それによって、私達がこの綺麗な校舎で活発に学校生活を送れることは決して当たり前ではないということを再認識することができ、感謝の思いを胸に刻みこんでいます。

そして、この感謝の思いを忘れないようにするため、清掃活動では「無言・自主・感謝」を掲げ、心をこめて取り組んでいます。また、3年前に拡張工事が完了した校舎でも、保護者や地域の方々と共に年2回の奉仕活動を行い、大切にに使わせていただいています。

このように、本校は生徒、先生方、地域の方々との温かい輪のある学校です。ですから、先生方も安心してお過ごしいただければと思います。これから、先生方にご指導いただきながら、授業、部活動、学校行事等に全力で取り組んでいきます。先生方、どうぞよろしくお願いいたします。

学校からの情報発信は、学年だより、HP、緊急連絡メールでも行っています

